

酪農宮崎

令和8年 1月31日 印刷
令和8年 2月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.651
2026年2月



第13回 酪農女性部ランチミーティングの様子(次号にて!)

2月号目次

情勢報告	1	全酪広告	10
宮崎県酪連30年史	2	全農広告	裏表紙
ミルクラン/表紙募集	3		
家畜防疫について	4~5		
令和7年度体型調査・牛群審査について	6~8		
ナンノ教授のヒトリゴト	9		



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1.生乳生産動向

4.トピックス

令和8年1月15日現在

指定団体	12月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	331,491	100.3	3,004,342	101.6
東北	36,789	97.4	336,316	99.9
関東	84,718	99.5	756,578	100.2
北陸	5,00	95.6	46,673	97.8
東海	23,827	100.2	210,979	99.5
近畿	11,036	98.2	99,878	98.5
中国	23,738	100.3	211,400	99.5
四国	8,507	101.1	74,255	100.3
九州	44,648	100.0	393,732	99.0
(内、宮崎)	5,350	96.6	48,810	98.6
都府県	238,269	99.3	2,129,811	99.7
合計	569,761	99.9	5,134,153	100.8

令和8年1月15日現在

用途	区分	12月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	225,445	98.1	2,192,250	98.7
	九州	28,625	100.1	275,990	98.9
はっ酵乳等	全国	32,456	99.9	315,177	98.1
	九州	6,704	108.8	64,272	97.8
特定乳製品	全国	167,604	101.9	1,335,412	105.7
	九州	6,673	91.9	33,069	101.9
生クリーム	全国	105,428	98.3	968,625	99.6
	九州	2,552	101.3	19,620	100.3
チーズ	全国	38,828	106.4	322,689	102.4
	九州	93	99.1	780	92.9
合計	全国	569,761	99.9	5,134,153	100.8
	九州	44,647	100.0	393,731	99.0

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3.生乳出荷量別生産者戸数 12月

生乳出荷量		戸数
100 t 以上		5 戸
80 t 以上	～ 100 t 未満	1 戸
60 t 以上	～ 80 t 未満	12 戸
40 t 以上	～ 60 t 未満	21 戸
20 t 以上	～ 40 t 未満	58 戸
10 t 以上	～ 20 t 未満	46 戸
10 t 未満		14 戸
合 計		157 戸

最高出荷量	454t／月
平均出荷量	34t／月

令和8年度加工原料乳支援決定！

令和8年度の加工原料乳生産者補給金及び集送乳調整金の単価と総交付対象数量を含む、畜産物価格・関連対策について、畜酪対策委員会でお決まりの通り決定されました。

【加工原料乳生産者補給金単価等と総交付対象数量等】

加工原料乳支援	令和8年度	令和7年度	前年差
加工原料乳生産者補給金	9.11円/kg	9.09円/kg	+0.02円/kg
集送乳調整金	2.83円/kg	2.73円/kg	+0.10円/kg
ALIC事業	0.09円/kg	0.08円/kg	+0.01円/kg
単価合計	12.03円/kg	11.90円/kg	+0.13円/kg
総交付対象数量	325万t	325万t	—
ALIC事業	25万t(※)	18万t(※)	+7万t
数量合計	350万t	343万t	+7万t

※うち20万t(R7_13万t)の単価は脂肪のみに充てる

補給金・調整金単価について、今回も引き続き、配合飼料等の高止まりによる生産コストと集送乳等における物流コストを織り込まれ、前年比0.12円/kgの増となりました。また、集送乳調整金へのALIC事業(集送乳経費の上昇抑制対策)を合わせると前年比0.13円/kgの増となります。総交付対象数量は、据え置きとなり、ALIC事業の別枠のうち5万tを補給金制度と同単価で支援し、残り20万tは、脱脂粉乳の需要が見込めないことを踏まえ、脂肪分のみを補給金相当額に充てることとなっております。

都府県の多くが生乳生産量は減少傾向であり、以前の年末年始に危惧された処理不可能乳発生のような不安感はありません。度重なる食料品等の値上げの影響により、牛乳・乳製品においても消費減退が危惧される状況となっております。そのような中、年末年始の取り組みとして、12月中旬に地場産品のPRイベントであるデリシャスマーケットでの牛乳販売と協議会役員による理解醸成活動、12月～1月末まで飲料関連会社(サンA)とのコラボ企画の「みやぎ産牛乳をみんなで飲もうキャンペーン」の実施、12月下旬～1月下旬までSNS(Instagram)を活用した「牛乳がススむ! #ミルクごくごく極上グルメ写真投稿キャンペーン」の実施等に取り組んでおります。今後も酪農家の皆様とともに関係各位と連携を図り、消費者への酪農理解醸成の活動、牛乳・乳製品消費拡大の取り組みを強化し、牛乳・乳製品を多くの方にご購買いただくよう、尽力してまいりたいと思いますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

宮崎県酪連30年史

平成7年9月発刊

2.近世の酪農

飛鳥、奈良時代、朝鮮から導入された乳牛の飼育、乳製品の製造も、貴族の没落、朝廷政治の衰退により、官牧はすべて荘園化し、次いで戦国時代に入り影をひそめてしまった。

江戸時代になっても幕府は鎖国政策をとったので、酪農の入る余地は少なかった。

しかし、民生がようやく安定した徳川8代将軍吉宗の時代、幕府がオランダ人のすすめで、白牛雄雌3頭を輸入し、直轄牧場である千葉の嶺岡牧場に繋養した。嶺岡牧場は平安時代から1世紀にわたり乳牛牧場として貢献し、寛政4年(1792年)には70頭規模の牧場になった。

幕府は製造係を置いて白牛酪を製造し、江戸に送り薬用として使い、朝廷に献上したり大名にも払い下げ、余分は日本橋の商人に販売したりした。これに触発されて水戸の徳川斉昭も天保14年(1843年)養牛場も設け牛乳酒も造った。

また、先進的な島津藩主島津斉彬も嘉永年間(1848～1854年)鹿児島市内に養牛場を設け、種子島に牧場をつくり本土との連絡に伝書鳩を使ったという。

安政5年(1858年)幕府が、アメリカ、イギリス、オランダ等5か国と通商条約を結び、外国人の往来が激しくなり、彼らは日常の食品である乳製品をとりよせたり、乳牛を本国から輸入して自家用として牛乳を搾ったりして、次第に日本人も知識を得て酪農の兆しが見え始めた。

搾乳業者として、一般に牛乳の販売を始めたのは、千葉の前田留吉が最初である。前田は文久3年(1863年)横浜市大田町に、わが国最初の搾乳所を設け、横浜在留のオランダ人から乳牛管理、搾乳、牛乳処理を伝習し、当初は外国人相手に牛乳を販売した。

その後、東京に出て牛馬会社をつくり、また芝に牧場を開き、渡米して牛乳を輸入する等酪農の先駆者であった。

このように、西洋文化の流入により、牛乳、乳製品の需要が次第に高まっていたが、明治政府も政府高官の外国視察により、牧畜業の重要性を認識し、明治2年頃から続々と洋種の輸入貸付が実施された。また、廃藩置県による士族の援産事業としても搾乳業を奨めたので、東京を中心に搾乳業者が急速に増加し、次第に地方都市に広がっていった。

また、関東をはじめ東北、北海道にかけて山林原野の払下げが行われ、乳牛の導入が試みられた。

乳業の発展は、れん乳業に始まる。明治に入って鷲印のれん乳が輸入されはじめ、乳幼児の育児栄養食品として重用され、その国産化が試みられた。最初は失敗も多かったが、明治40年頃その技術が確立し、各地にれん乳業が勃興した。北海道をはじめ山形、千葉、静岡地方である。

かくしてわが国の酪農は、都市周辺の搾乳業の広がり、れん乳事業の開始により、次第に発展していった。

酪農宮崎 企画

「この人を知る」ーミルクランー

黒木 春奈

【所属・プロフィール】

所属 JA都城地区本部
畜産部酪農課

出身 宮崎県都城市

出身学校 宮崎県立
農業大学校



仕事の概要

仕事内容としては、今年入組したばかりなので様々なことを学びながら酪農に関しての内務等や都城管内の酪農家さんの巡回、セリ・ホルスタイン共進会・乳製品消費拡大運動などの業務をしています。

酪農家の皆様へ

まだまだ酪農に関して分からないことだらけで、ご迷惑おかけすることがあると思いますが、1年1年を大切に日々努力し、酪農家の皆様に少しでも貢献できるように頑張りたいと思います！

鶴輪 邦夫

【所属・プロフィール】

所属 尾鈴地区本部

出身 都農町



出身学校 都農高校

仕事の概要 畜産農家の支援
管内10戸の酪農家を担当

酪農家の皆様へ

毎日、早朝からの作業で大変かと思いますが、ご自愛し、いつまでも美味しい酒が飲めるように頑張ってください。

『酪農宮崎』表紙写真大募集！！

毎月掲載しています「酪農宮崎」表紙写真ですが、あなたの撮った写真を掲載してみませんか？

酪農において「おもしろい写真が撮れた!」や「キレイな写真を撮った」、「子供や自分が描いた絵がある」、「牧場メンバーの写真を紹介したい」など、様々なことがあると思います。それを酪農宮崎の表紙に応募してみませんか？

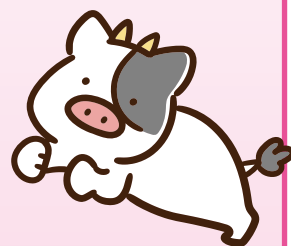
インスタだけでなく、酪農宮崎でも共有してみましょう。

不定期の採用となりますが、採用者には景品をプレゼントいたします！

たくさんのご応募お待ちしておりますま〜す♪

【申込先】

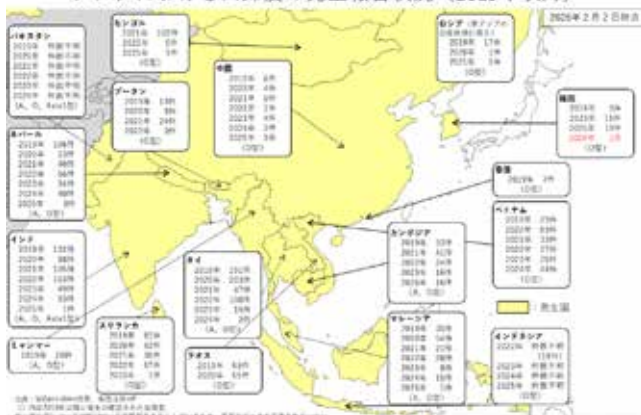
地区本部の酪農担当部署、JAみやざき本店連酪農課
(TEL:0985-31-2128 Fax:0985-31-5765)まで!



2月は家畜防疫強化月間です！

- アジアでは様々な地域で口蹄疫やランピースキン病などの家畜伝染病が継続して発生しており、国内への侵入リスクが非常に高い状況です。
- いま一度、飼養衛生管理基準を再確認し、畜舎周辺の消毒など日頃からの農場防疫を徹底しましょう。

アジアにおける口蹄疫の発生報告状況（2019年以降）



アジアにおけるランピースキン病の発生報告状況（2019年以降）



口蹄疫

- ★ 2025年3月、4月に韓国で4年ぶりに発生（11事例）
- ★ **2026年1月30日に新たに1事例発生**
- ★ 主な症状は、複数頭における39℃以上の発熱、口腔、鼻、蹄部、乳頭などに**水疱**、**びらん**、潰瘍、**泡沫性流涎**、跛行、起立不能



泡のようなよだれ



舌の水疱



乳頭の水疱、びらん

ランピースキン病

- ★ 2024年に国内で発生（22事例）
- ★ 主な症状は、**皮膚の結節**や水腫、発熱、乳量低下
- ★ ウイルスが侵入する要因は、感染した牛の移動・汚染した飼料や器具の移動、感染牛を吸血した昆虫などによる伝播



皮膚の結節

○飼養衛生管理基準の遵守の徹底をお願いします

○衛生管理区域への病原体を持ち込まないようにしましょう

- ・関係者以外の立入を制限する。
- ・農場に持ち込む物品、車両を消毒する。
- ・農場専用の長靴と衣服を用意する。
- ・定期的に畜舎の清掃・消毒を行う。
- ・牛舎ごとに踏込消毒槽と手指消毒設備を設置する。
- ・立入者の記録をつけ、保管する。



車両消毒



専用長靴



牛舎消毒



踏込消毒槽



立入記録簿

○早期発見・早期通報をお願いします

飼養牛に異常（発熱、食欲不振、よだれを流す、口・蹄・乳頭の水ほう・びらん、乳量低下、皮膚の結節など）が認められたら、直ちにかかりつけの獣医師もしくは最寄りの家畜保健衛生所へ連絡しましょう。

○春先に向けた吸血昆虫対策の徹底をお願いします

1. 幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！

堆肥の切り返しは
隅々まで！牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーフベンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！つなぎ牛舎は
バーンクリーナーへ散布！

➤ 春先以降の成虫の発生を減らすため、**冬のうちの対策が重要**です！

2. 成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！

地面や床から2mは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

3. 対策は地域ぐるみで！関係業者も一緒に！

➤ 吸血昆虫はランピースキン病だけではなく、牛伝染性リンパ腫や牛異常産を引き起こす原因となるウイルスも媒介します。吸血昆虫対策の徹底をお願いいたします。

◎宮崎家畜保健衛生所：0985-73-1377（日南駐在）：0987-64-2212
 ◎都城家畜保健衛生所：0986-62-5151（小林駐在）：0984-22-7011
 ◎延岡家畜保健衛生所：0982-32-4308（高千穂駐在）：0982-72-2511

令和7年度(後期)牛群審査・体型調査報告 宮崎県の審査概況について

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 審査委員 國行将敏

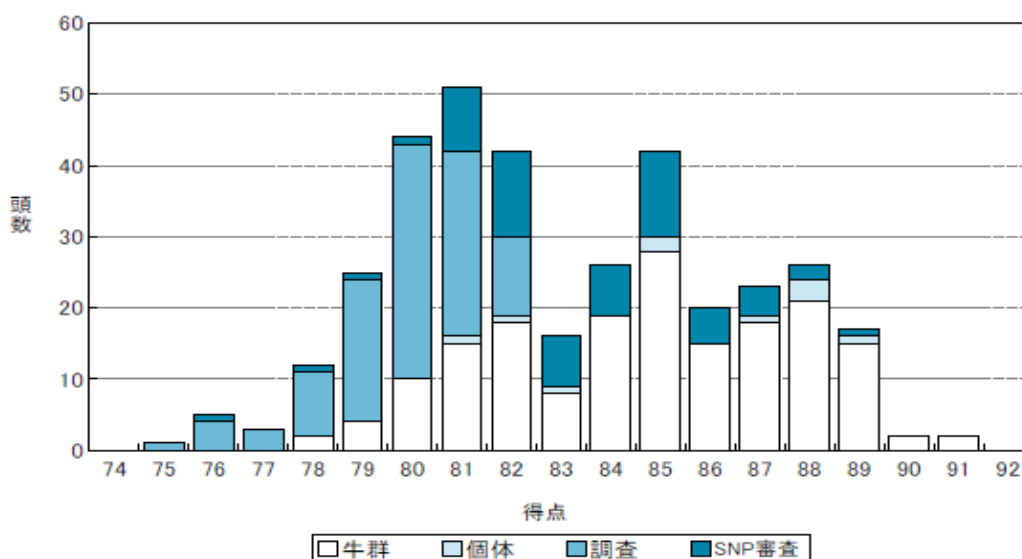
1月15日から1月23日までの間、宮崎県内の牛群審査並びに体型調査を実施させていただきました。例年、後期の審査は12月に実施しておりますが、第16回全日本ホルスタイン共進会の開催により、後期の審査が1か月遅れたことから、年を明けての実施となりました。

期間中はちょうど日本列島に最強寒波が来ていたこともあり、1月でも暖かい宮崎県に寒さをもたらした時期でもありましたが、生産者および宮崎県農業協同組合の担当者をはじめ、多くの方にお世話になりましたこと、この場を借りてお礼を申し上げます。

前回宮崎県を訪問したのが令和4年度後期で、3年ぶり5回目の審査訪問となりましたが、前回審査した牛が産を重ねて審査する牛もいるのではと、期待に胸を膨らませ訪問させていただきました。

●有料審査頭数は大幅に増加

図1 令和7年度後期 審査得点分布（ホルスタイン種のみ）



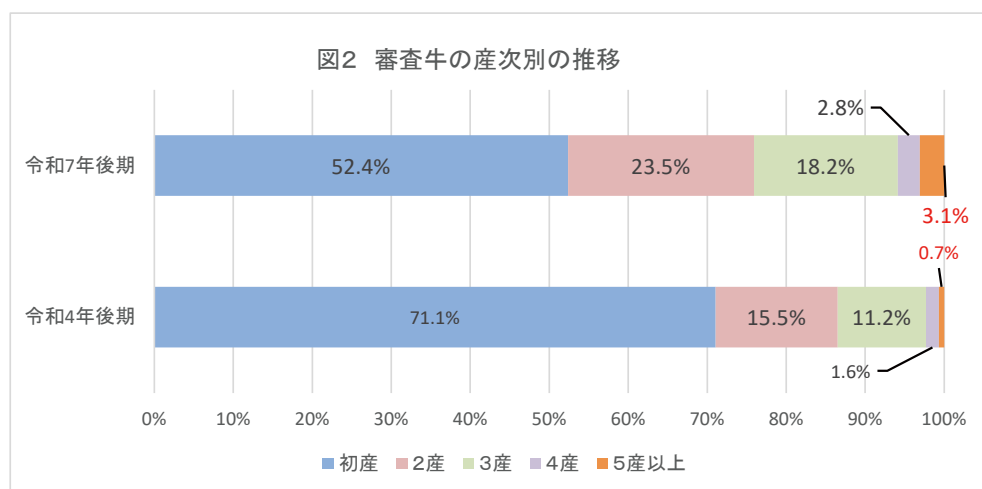
	74 以下	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92 以上	計 (平均)
牛群	0	0	0	0	2	4	10	15	18	8	19	28	15	18	21	15	2	2	0	177 (84.8)
個体	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	1	3	1	0	0	0	10 (85.6)
調査	0	1	4	3	9	20	33	26	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107 (79.8)
SNP審査	0	0	1	0	1	1	1	9	12	7	7	12	5	4	2	1	0	0	0	63 (83.5)
計	0	1	5	3	12	25	44	51	42	16	26	42	20	23	26	17	2	2	0	357 (83.1)

今回の審査は、西諸えびの管内2日、宮崎高鍋管内2日、都城管内3日の日程で、合計357頭を審査させていただきました。前年後期と比較しますと、牛群審査+3戸+53頭、奨励審査±0戸▲1頭、体型調査▲8戸▲82頭、SNP体型審査+7戸+45頭となりました。またジャージー牛を4頭審査いたしました。

が、前年後期と比べ+3頭となりました。厳しい酪農情勢が続く中、予定していた頭数以上に審査していただいた農家も少なくなく、より多くの審査をしていただきましたことに心より感謝申し上げます。

審査得点の分布については図1のとおりとなりました。このグラフはホルスタイン種だけのグラフですが、牛群審査および体型調査等を含む全体の平均得点は 83.1 点となり、前年同期比 0.9 ポイント上昇しました。産次別で比較すると、初産牛は 187 頭で全体の 52.4%を占め、平均得点は 80.4 点。2産目以降の受検牛は 170 頭で平均得点 86.1 点という結果でした。

また、前回訪問時の審査と産次別の審査頭数と割合を比較したのが図2です。前回の訪問では体型調査の頭数が多かったことから、単純に比較はできませんが、今回特に5産目以上の審査が増えてきたと感じております。昨年7月の前期審査において9産の牛を審査していますが、県内でも長命連産の改良が進んできている成果だと思われます。全国的に平均除籍産次数が低下してきているなか、昨年4月に公表された「家畜改良増殖目標」では、長命連産性向上に向けた 10 年後の計画を立て、それに沿った改良が進むことになります。宮崎県の乳牛が、長命連産性に優れた改良に進むことを期待したいところです。



	初産	2産	3産	4産	5産	6産	7産	8産	計
令和7年後期	187	84	65	10	8	1	1	1	357
令和4年後期	216	47	34	5	0	1	1	0	304

●4頭を「エクセレント」に

今回も多くの素晴らしい牛を審査することができました。その中でエクセレント(EX)と評価した牛は図3のとおりです。今回は新規 EX が2頭、EX 更新牛が2頭の計4頭をエクセレント牛と評価しました。

都城農業高等学校の「ブルーミー:5産、新規」は体各部のバランスと肢勢がよく、乳用強健性に優れていました。また川野大輔さんの「クラツシユ:5産、新規」は坐骨幅、寛幅が広く、それに伴い後乳房も幅がありました。

さらに都城農業高校の「クラツシユ:5産、2E」は肋が開張し肢勢もよく、後乳房の付着が高く幅のある乳器をもった牛でした。また榎木敦史さんの「アルマーニ:8産、3E」の乳房は産を重ねても乳房底面は高く付着の強い乳器をもった牛でした。

この4頭の他にも、この紙面に書ききれないくらい乳用強健性に優れ、付着が強く底面の高い乳器をもつ、体型に優れた牛たちを多く審査させていただきましたが、産を重ね高評価になることを期待しています。

図3 令和7年度後期エクセレント牛

名 号 登録番号(IDNo)	生年月日	父牛略符号	所有者住所 氏名	今回得点 (4 部位得率)	産次	
サンシャイン クラッシュ 6502 1587265028	R 1.05.07	94H17998	宮崎県都城市祝吉1ー 宮崎県立都城農業高等	91 (89 90 90 92)	6-08 5産	2E
ネトルリー アルマーニ ホルトン 1492707934	H 28.02.22	7H11703	宮崎県都城市山之口町 榎木 敦史	91 (89 88 91 93)	9-10 8産	3E
TONO ウィットニー プルミー 1556646810	H 31.04.17	250H12589	宮崎県都城市祝吉1ー 宮崎県立都城農業高等	90 (90 90 90 89)	6-09 5産	新規
ビツグリハー クラッシュ 4597 1382845975	H 31.01.01	94H17998	宮崎県都城市上長飯町 川野 大輔	90 (91 89 90 90)	7-00 5産	新規

●10年ぶりの全共開催

昨年10月、北海道安平町で「第16回全日本ホルスタイン共進会」を開催しましたが、宮崎県の出品者をはじめ関係者の皆さまは、1,000km以上の長距離移動で大変お疲れになったと思います。今回の全共の出品に際し、携わった宮崎県の関係者に感謝を申し上げます。

10年ぶりの全共開催となりましたが、宮崎県代表としてホルスタイン種未経産牛3頭、経産牛3頭、ジャージー種経産牛1頭の計7頭が出品されました。これまで14回実施した全共の中では最高となる386頭の出品となりましたが、出品者の皆さまは大舞台の中で何かを感じ取った方も少なくないと思います。また、都城、高鍋の農業高校からも出品されましたが、高校で実習した成果を十分に発揮されたと思っております。今回の経験が乳牛改良や、学校の酪農実習などに繋がれば幸いです。

今回の全共開催地は決定していませんが、「参加してよかった！」と言ってもらえるような全共が開催できるよう努力してまいります。宮崎県の皆さまと全共で再開できることに楽しみにしています。

●最後に

長引く円安の影響により、資材費や飼料費の価格高騰は続き、高温による夏期需要期に対する生乳の安定供給や後継牛確保の問題など、毎年、酪農情勢は「厳しい」と言わざるを得ない状況になっております。このことから国としても、夏季の受精卵移植や暑熱対策資材導入の補助や、長命連産性の高い凍結精液の補助など、国内酪農家を支援する様々な対策や予算が講じられていますが、当協会では酪農家の皆様に有益な情報還元し、情報を利活用して牛群全体の改良を進めながら、厳しい状況下の中で効率よく安定的な酪農経営をしていただきたいと思います。

引き続き皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、今後も血統登録や牛群審査・体型調査など、各種事業にご理解ご協力のほどお願い申し上げますとともに、宮崎県の酪農がますます発展をしていくようご祈念申し上げ、令和7年度後期審査の概況報告とさせていただきます。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

時間の感覚

南野 快

1月はいく、2月にはげる、3月はさる、とも言うように、年が明けて年度末が近づくと日々が過ぎるのが早く感じ、慌ただしくなる。冬至を過ぎて日照時間が長くなってくるとはいえ、まだまだ日中は短く、毎日がどんどん過ぎてゆく。

一方、時の長さの感覚は面白く、楽しい時は早く、苦しい時は遅く感じる。気のおけない友人達との飲み会では美味しい食事に舌鼓を打ちながら楽しく歓談していると2、3時間があっという間に過ぎるし、反対に心身ともに苦痛を伴うときは時計の針の動きが異常に遅く感じる。苦楽による時の流れの感じ方の違いは時間単位だけではなく、1日、1ヶ月、1年単位でも同じだろう。ただ、歳をとればとるほど1年の経過が早く感じるのは何故だろう。若い時は苦しいことが多く、歳をとると楽しいことが多いからか？いや、一概にそうとも言えない。

年齢を重ねるほど1年が早く感じられる理由として、19世紀のフランスの哲学者が提唱した「ジャンネの法則」が知られている。「人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例する」というもの。すなわち、5歳にとっての1年は人生の5分の1だが、50歳にとっての1年は50分の1となり、比率が小さくなるため短く感じられるという説である。なるほどと相槌を打ちたくなるが科学的とも言えない。一方、記憶密度仮説というものもある。時間の長さは実際の経過ではなく、後から思い出せる記憶の量(密度)によって評価されるという説であり、子どもや若い時は新しい経験や学習が多い分だけ脳が多くの情報を処理するために時間を長く感じるが、中高年になると生活がルーティン化して新しい発見や刺激が減るから時間が早く過ぎるように感じる、というものである。

時の流れの感じ方に関しては神経科学の分野でも長年研究されている。脳内ドーパミンレベルの低

下が体内時計を遅くさせることで自分の意識よりも実際の時間経過が早く感じる、と考えられてきた。ただ、これとは逆の研究結果もある。確かにドーパミンは「意欲」や「集中力」などを生み出し、これが活性化すると体内時計が早くなると考えると辻褄が合う。そうか、歳を取って時間が早く感じるということは「意欲」や「集中力」があるということなのか。いずれにせよ、時間の感覚は複数の要因が重なった結果である。また、「時間にどれだけ注意を向けているか」にも依存する。今なすべきことに注意が向いていれば時間そのものへの注意が減る。

一度しかない人生、時間は大切にしたい。そして、仕事でも遊びでも自分がやりがいを感じることにいつまでも熱中したい。但し、その結果、自分の人生が早く過ぎると感じるか、長く充実していると感じるかは、その人次第なのかも…



写真 岐阜城の天守閣前にある「お城時計」。「馬」を「午(うま)」と書くのは知っていても、十二支の7番目で時刻は正午(午前11時～午後1時頃)を指すことは意識していなかった。「午の刻」より前か後かで「午前」、「午後」と呼ぶことを知り、今更ながら「なるほど!」と感心すると同時に自分の無知を知る。

全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよね。」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよね。」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
全酪連 福岡支所 畜産課 まで
092-431-3447
お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

（肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。）

※哺育期間は、全酪連「強化」哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後選別牛のための「強化哺育®・育成体系」を発表、強化哺育®用代用乳「カーフトップEX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月でほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果を和牛子牛やF1子牛に応用するために「カーフトップEXブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用系牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用系牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カーフトップEXブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら
代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機械類 掲載

地域によって、取扱がない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所 TEL 092-431-8113 FAX 092-431-8355
南九州事務所 TEL 0986-62-0006 FAX 0986-62-0193

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ デイリーアップ74

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- ベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現



JAグループ

農協 | 全農 | 経済連 | くみあい飼料